

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

とえだ

広報

Soeda
Public
Relations



●第30回町内小学校音楽発表会(詳細は9ページ)

心一つに、天まで届け
みんなのメロディー

DEC.2018

12

No.686

オークホール 開館30周年

●懐かしの思い出記念館

2020年に東京でオリンピックが開催されますが、オークホールロビーには、1964(昭和39)年に東京オリンピックが開催されたときの田川を力走した聖火リレーの写真を展示しています。走者は、鶴我國晴さん(野田)で昭和39年9月17日、秋晴れの筑豊路を疾走しました。また、昭和7年に当時の大相撲、隅田川関から鶴我國晴さんの父、一夫さんが頂いた化粧まわしも展示しています。



↑力走する鶴我さん

↑大相撲の化粧まわし

●ロビー展示の作品募集

皆さんが制作した作品をオークホールのロビーに展示しませんか。写真や絵画、書、クラフト作品など無料で展示できます。

現在、成好安正さん(下津野)の陶芸と森田音馬さん(庄東)の木工作品などを展示。オークホールの空間



↑作品募集中のロビー展

を演出する素敵な作品をお待ちしています。

●そえだまち観光大使

熊谷真実さん舞台公演決定
【真実ちゃん一座だヨ！全員集合】



▶とき 平成31年3月3日回

▶ところ オークホール

※詳細は1月号でお知らせします。

☎ オークホール (☎ 82-2559)



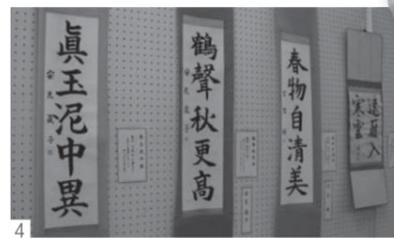
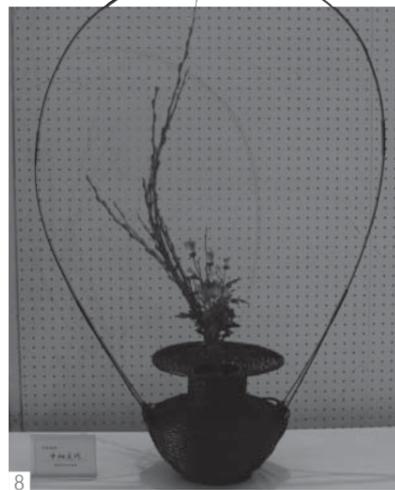
スポットライトに照らされた晴れ舞台

芸能発表の部

ステージで行われた芸能発表の部。初日は、大正琴と歌謡曲が行われ、日ごろの練習の成果を存分に発揮し、観客を魅了していました。2日目の舞台では、民謡や舞踊などの円熟した芸をはじめ、創作ダンスやフラダンス、バレエなどを披露。また、オークホール開館30周年記念コーラスも行われ、約45人が素敵なハーモニーを奏でました。日々精進し、磨き上げられた作品や演目が集う総合文化祭。出演者や出品者の皆さんの作品への意気込みや情熱が町の文化を支え高めてきました。この文化をこれからも伝え、大切にしていかなければなりません。

④ 小気味よい津軽三味線を奏でる高橋会
⑤ 優雅に、リズムカルに踊るバレリーナたち
⑥ 日ごろの練習の成果を存分に発揮しました
⑦ オークホール開館30周年記念コーラスでは心をついにハーモニーを響かせました

① 華麗なフラダンスが披露され、ステージはまるで南国のよう
② 日本の各地で歌い継がれてきた民謡を熱唱する添田郷土民謡会
③ 無法松の一生を力強く踊る創作ダンス舞姫の皆さん



華やかに彩られた、わたしたちの自信作

作品展示の部

添田町文化連盟(山下政一会長)主催による添田町総合文化祭が行われ、作品展示の部と芸能発表の部で、円熟された作品や芸が披露されました。今年度の作品展示では、書道や水彩画、日本画、水墨画はがき絵などの美術部門と華道や茶道、陶芸といった生活芸能部門、このほかにシルバークセサリーや寒蘭などがロビーを埋めつくし、華やかに彩りました。仕事や家事など忙しい中で、皆さんが日々努力し続け、作り上げた繊細で、迫力ある作品の数々。訪れた人は、多彩な作品の一つひとつに感心しながら、じっくりと見入っていました。

⑥ 和と美が表現された池坊のいけばなを眺める皆さん
⑦ 細部まで繊細に描かれた福田暢夫さんの水彩画
⑧ 曲線が美しさと力強さを表現した大和池坊の作品
⑨ かわいいパッチワークが並んだ布遊会の作品

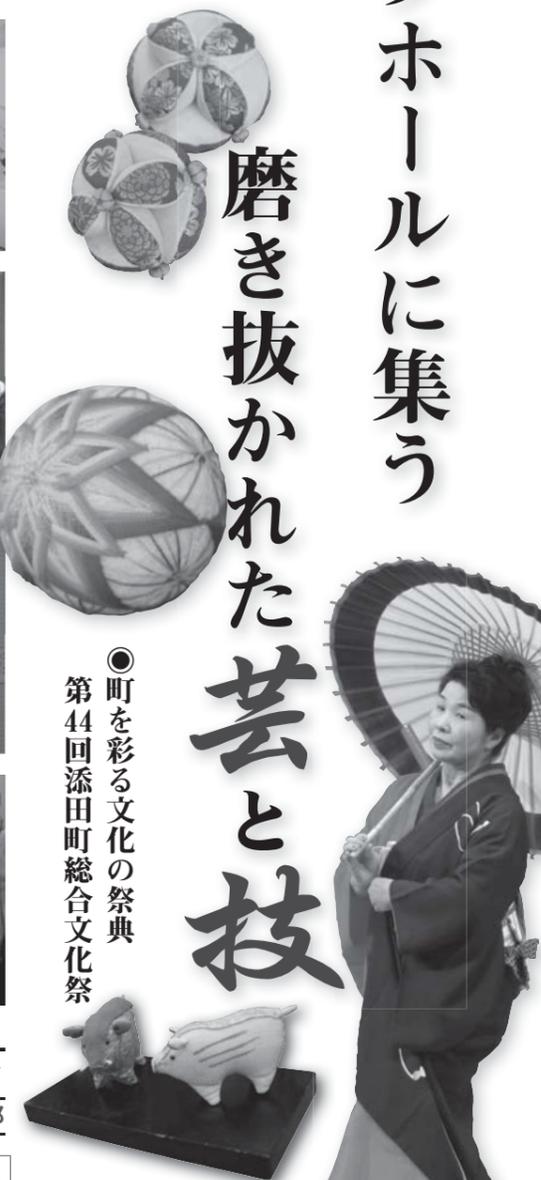
① 子どもの健やかな成長を願うさげもん
② 美術館のように彩られたロビー
③ お茶席では和菓子とお茶を味わいました
④ 一筆一筆、丁寧に力強く書かれた大作
⑤ 作品の奥深さを心行くまで鑑賞しました

オークホールに集う

磨き抜かれた芸と技

●町を彩る文化の祭典 第44回添田町総合文化祭

今年度、開館30周年を迎えるオークホールで11月3日と4日の両日、添田町総合文化祭が開催されました。約520人の皆さんが、日々の制作や稽古に励んできた集大成を披露。芸術の秋、町は文化で彩られました。



添田町 人事行政の運営状況



添田町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき町の人事行政の運営状況をお知らせします。

問役場総務課総務係 ☎82-1231

1 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員の任免状況

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
採用者数	6	4	8	3	1	1
退職者数	4	7	6	4	1	1

(2) 職員数の推移

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	過去5年間の増減数と率(%)
一般行政	111	114	110	105	103	102	△9 △8.1%
教育	20	20	20	22	23	23	3 15.0%
消防	—	—	—	—	—	—	— —
普通会計	131	134	130	127	126	125	△6 △4.6%
公営企業等会計	15	14	15	15	16	16	1 6.7%
計	146	148	145	142	142	141	△5 △3.4%

※各年における定員管理調査において報告した部門別職員数

(3) 年齢別職員構成の状況(各年4月1日現在)

職員数区分	20歳未満	20歳23歳	24歳27歳	28歳31歳	32歳35歳	36歳39歳	40歳43歳	44歳47歳	48歳51歳	52歳55歳	56歳59歳	60歳以上	計
平成29年度	0	3	9	36	15	11	16	18	12	13	9	0	142
平成30年度	0	4	7	33	18	13	15	16	12	15	8	0	141

2 職員の給与の状況

(1) 職員給与費の状況(平成29年度普通会計決算)

職員数(A)	給与費			
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)
126人	4億8,340万円	5,944万9千円	1億9,040万7千円	7億3,325万6千円

【参考】一人当たり給与費(B/A) 572万9千円

- ※1 職員手当には退職手当を含まない。
- ※2 職員数は、平成29年4月1日現在の人数である。
- ※3 給与費については、任期付短時間勤務職員(再任用職員(短時間勤務))の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない(平成29年度については、任期付短時間勤務職員は2人)

(2) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(平成30年4月1日)

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
添田町	39.7歳	294,481円	324,821円

- ※1 「平均給料月額」とは、平成30年4月1日現在における職員の基本給の平均である。
- ※2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものである。

(3) 職員の初任給の状況(平成30年4月1日)

区分	添田町	国
一般行政職	大学卒	179,200円
	高校卒	147,100円

(4) 職員の手当の状況(平成30年4月1日現在)

手当(主なもの)	内容及び支給単価	国の制度
扶養手当	配偶者6,500円 子10,000円 配偶者のない職員の扶養親族1人につき6,500円 16歳から22歳までの子1人5,000円加算	同左
住居手当	貸家貸間12,000円を超える部分最高27,000円 自宅新築及び購入5年間月額2,500円	自宅に係る手当はなし
通勤手当	交通機関利用者全額支給55,000円限度 自家用車利用者2km以上2,000円～31,600円	同左
管理職手当	監督管理職にあるもの 給与月額15/100以内	官職に応じ定額支給
宿日直手当	一般の宿日直 月額4,200円 常直 月額21,000円	同左
期末手当	2.60月分(再任用については1.45月分)	同左
勤勉手当	1.80月分(再任用については0.85月分)	同左
時間外勤務手当	正規の勤務時間以外に勤務した職員に対して支給	同左

(5) 特別職の報酬等の状況(平成30年4月1日)

区分	給料月額等	期末手当
給料	町長	762,000円 2.60月分
	副町長	611,000円 2.60月分
報酬	議長	304,000円 2.60月分
	副議長	269,000円 2.60月分
	議員	248,000円 2.60月分

3 職員の勤務時間その他勤務条件の状況

(1) 勤務時間

始業時間	終業時間	休憩時間	1週間の勤務時間
8時30分	17時15分	12時～13時	38時間45分

※ 職場などにより上記と異なる場合がある。

(2) 休暇

休暇の種類(主なもの)	休暇の期間
年次有給休暇	年 20日
病欠休暇	結核性疾患の場合、1年以内 その他の疾病の場合、90日以内
特別休暇	
職員の結婚休暇	連続する5日の範囲内
産前・産後休暇	産前6週間(多児妊娠の場合は14週間) 産後8週間
妻の出産休暇	2日の範囲内
子の看護休暇	1の年において5日の範囲内
忌引き	親族に応じ1日から7日の範囲内
夏季休暇	1の年の6月から10月までの期間に 4日の範囲内

4 職員の分限及び懲戒処分の状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

内容	降任	免職	休職	降級
分限処分者数	—	—	1人(傷病等)	—
懲戒処分者数	—	—	—	—

5 職員の退職管理の状況

職員の退職状況(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

退職者数	管理職職員	管理職以外	合計
退職者数	1人	3人	4人

6 職員のサービスの状況

区分	内容	違反者
法令等及び上司の職務上の命令に従う義務	法令に従い、かつ、上司の職務命令に従わなければならない	0
信用失墜行為の禁止	職の信用を傷つけ、又は職の不名誉になるような行為をしてはならない	0
秘密を守る義務	職務上知り得た秘密を漏らしてはならない	0
職務に専念する義務	勤務時間中、職務にのみ専念しなければならない	0
政治的行為の制限	政治的活動をしてはならない	0
争議行為等の禁止	ストライキ等をしてはならない	0
営利事業等の従事制限	営利を目的とする私企業を営み、又は役員等になり報酬を得てはならない	0

7 職員の研修の状況(平成29年度)

研修内容	受講者数
派遣研修(民間企業などへの派遣研修)	27人
派遣研修(民間企業以外への派遣研修)	延 47人
福岡県市町村職員研修所研修	延 95人
一般研修(人事評価研修など)	延 665人
人権・同和研修(田川地区自治体職員研修など)	延 196人

8 職員の福祉と利益の保護の状況(平成29年度)

(1) 職員の健康診断の状況

内容	受診者数
職員の定期健康診断	141人
職員の定期歯科検診	86人

(2) 公平委員会からの勧告に基づく勤務条件などの是正勧告

内容	該当者数
勤務条件	0件
不利益処分	0件

人事評価制度を導入しています

職員一人ひとりの能力を引き出し、育て、活かして、住民から期待され信頼される職員に成長すること、および職場のコミュニケーションの円滑化を図り、組織の活性化を図るため人事評価を実施しています。

●評価の種類

【業績評価】

- ① 期初に設定した目標の達成度を期末に評価

【行動評価】

- ① 成績評価：仕事の正確さや迅速性について評価
- ② 能力評価：職責を果たすうえで発揮された能力について評価
- ③ 態度評価：仕事に対する取組み姿勢を評価

●対象者

休職などの事由がある者は除き一般職の全職員

より良いまちづくり
を目指します!!





身近なまちの話題について情報をお寄せください。
広報紙に掲載された写真は差し上げますので、お気軽にお問い合わせください。



梶田落合営農組合が大豆作りで表彰

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会

農事組合法人梶田落合営農組合は、県大豆作経営推進共進会で優秀賞を受賞し、福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会から表彰状が贈られました。組合は、水田での生産性、商品性の高い豆類生産の定着を図るため、経営規模の拡大や生産コストの低減を行い、経営改善を図っていることが認められ今回の受賞となりました。



↑寺西町長に受賞の報告をする営農組合の皆さん

自然や景観を守るボランティア活動

油木ダムを美しくする会

油木ダム周辺で11月11日、北九州市や行橋市、九州電力のボランティア、地域の皆さんなどが参加して、油木ダムを美しくする会（金子鳴身会長）の除草作業が行われました。終了後、津野で採れた山菜を使った弁当やシシ汁、焼きシイタケがふるまわれ、参加者は旬の味覚を味わいながら、作業の疲れを癒していました。



↑ダム周辺の自然環境と美しい景観をいつまでも

400年の歴史ある文化財を鮮やかに

奉幣殿美装化工事見学会

6月から建物正面の柱などを塗り替える美装化工事中の英彦山神宮奉幣殿で11月10日、工事見学会が行われました。この見学会は、普段見ることができない工事の過程を知ってもらおうと神宮と町が企画。参加者は、工事関係者や町の文化財担当者から奉幣殿の歴史や漆の塗り替え方法などについて解説を聞いていました。



↑年内には工事完了予定で朱色が鮮やかになります

写真の撮り方のコツを学びました

町立図書館読書会教養講座

11月17日と23日の2日間、町立図書館読書会教養講座が行われ、田川写真クラブ会長の吉田宏司さん（田川市）を講師に写真の撮り方のコツを学びました。初日の11日は、カメラを手に添田公園で撮影に挑戦。参加者は先生からアドバイスを受けながら、モミジやイチョウなど色鮮やかな秋の情景をカメラに収めていました。



↑先生と一緒にシャッターを切る参加者の皆さん

母の愛情たっぷり、離乳食の進め方

離乳食教室

11月8日、オークホールで生後5か月から11か月の乳児のいる母親が参加して行われた離乳食教室。参加者は、講師の栄養士に相談しながら、子どもの月齢に合わせて食材を細かく切ったり、すりつぶしたりして白身魚のホイル焼きや温野菜、ミネストローネ、サツマイモ蒸しパンをつくり、さっそく食べさせていました。



↑子どもの月齢に合った調理の方法を学びました

1年間無病息災で過ごせますように

薬師堂秋季大祭

秋晴れとなった11月4日、上中元寺地区の薬師堂で上中元寺観光協会（山本文一会長）による秋季大祭が行われ、1年間の健康や病気治癒を願い、多くの人が参拝しました。式典後は温かい豚汁が振る舞われ、社会福祉法人添寿会職員の皆さんによる太鼓の演奏や恒例の餅まきが行われるなど来場者を楽しませていました。



↑1年間の健康を願って多くの人が足を運びました

↓戦前、警察署長をしていた鐵之助さんが歴代の福岡警察署長から頂いた縁起の良い鷹と博多人形



夫婦の鷹と能を舞う博多人形

中富泰州さんが寄贈

元添田町議会副議長の中富泰州さん（野田）が縁起の良い夫婦の鷹の置物と能を舞う博多人形を町に寄贈しました。この品は、中富さんの父で昭和34年から42年まで第16代、17代の添田町長を歴任した町名誉公民の中富鐵之助さんの所蔵品だったもので、平成4年に鐵之助さんが亡くなってからも大切に保管されてきました。「今までお世話になってきた町に恩返ししたい」と寄贈することにした中富さん。寺西町長は「立派で大切な品を頂きありがたい。町民の皆さんにも、ぜひ見てもらいたい」と語っていました。どちらの品も役場1階ロビーに飾っていますので、ご覧ください。

修武会の長町さん、気合の形

全国空手道選手権大会出場

空手道場「田川修武会」（手嶋徹館長）に通う添田小学校2年生の長町楓さんが11月11日に大阪市で開催された第56回全国空手道選手権大会に女子形競技で出場しました。保育園のときの先生で数多くの空手の大会で優勝経験のある合田詩乃さん（町四）に憧れ、小学校入学と同時に空手の稽古を始めた長町さん。今年9月、熊本県で行われた九州大会で見事3位になって全国大会出場を決めました。大会前の11月6日に役場を訪問し、寺西町長から激励を受けて臨んだ全国大会。結果は惜しくも敗れてしまいましたが、力強く、キレのある気合の入った演武を披露していました。

↓2020年東京五輪から正式種目となる空手。夢のオリンピック出場目指して頑張れ“そえだっ子”



↓寺西町長が協議会へ感謝状を贈呈(左上)真剣な表情でガラスについて学ぶ真木小児童(右上)



そえだドームに防災安全ガラス

機能ガラス普及推進協議会寄贈

建築用ガラスの生産や販売などに関わる7団体で構成される機能ガラス普及推進協議会がそえだドームの1階に防災安全ガラス254枚を寄贈、工事を行いました。防災安全ガラスは2枚のガラスの間に合成樹脂をはさみ、熱圧着したもので物が当たっても貫通しにくいのが特徴で、避難所の2次災害防止などが期待されます。11月22日にオークホールで寄贈式が行われ、協議会の森谷茂明さんから寺西町長に目録が手渡されました。「多くの人が利用する施設なので、平常時も災害時も有効でありたい」と語る寺西町長。その後、真木小学校でガラスの出張授業が行われました。



身近なまちの話題について情報をお寄せください。
広報紙に掲載された写真は差し上げますので、お気軽にお問い合わせください。



季節の食材で実りの秋のごちそうを

男女共同参画推進事業

11月10日、オークホール調理室で、男女共同参画料理教室が行われ、17人が参加しました。今回は、町管理栄養士を講師に「旬の食材を食べよう！」と食育講座での話も聞きました。調理は班ごとに協力して行い、食進会の皆さんが丁寧に指導。参加者は「栄養価の高い旬の食材をできるだけ使いたい」と話していました。



↑秋鮭の旬野菜あんかけなど全4品を作りました

チームワークを発揮し2連覇を達成

第57回郡民体育大会軟式野球大会

10月28日、赤中学校で、添田町と赤村、大任町、糸田町、川崎町の5町村が出場し、第57回郡民体育大会軟式野球大会が行われました。平成28年度に優勝、昨年度は雨天中止となったため、2連覇がかかった今大会。初戦の糸田町に延長タイブレークで勝ち上がると決勝戦では、川崎町に勝利をおさめ、連覇を達成しました。



↑チームワークで見事V2を達成した添田町チーム

↓穴をあけた原木にカナヅチを使って、シイタケの駒を一つずつ丁寧に打ち込む参加者の皆さん



雄大な山の魅力に触れました

森林ふれあいツアー

11月18日、津野地区で豊かな森林に親しんでもらおうと森林ふれあいツアーが行われ、町内外から5家族22人が参加しました。午前中は、山でシイタケの駒打ちや収穫などを体験。午後からは木を加工し、オリジナルのキーホルダー作りをしました。サンドペーパーで木を削って、焼印をし、ヒモを通して完成。参加した家族は「削ると木の良い匂いがしてくるね」と笑顔で話していました。



↑キーホルダーを手にハイチーズ

一番速く、一番遠くへチャレンジだ

子ども会陸上記録会

快晴に恵まれた11月11日、そえだサン・スポーツランドで子ども会陸上記録会が行われ、町内の子ども59人が短距離走や走り幅跳び、リレーなど5つの種目に挑戦しました。さわやかな秋空の下、良い記録を目指して元気いっぱい競技を楽しんだ子どもたちには、一人ひとりに認定証が手渡され、笑顔を見せていました。



↑ゴールを目指し、猛ダッシュする子どもたち

災害復旧へ、イベントで集めた善意

くるみ保育園保護者会

くるみ保育園保護者会の皆さんが、大雨災害からの復旧に役立ててもらおうと町に寄付をしました。10月20日に行われたくるみフェスティバルの売上金の一部やその会場に募金箱を設置、保護者や地域の皆さんなどに協力をお願いして集めたものです。11月2日に代表者と園児が役場を訪れ、寺西町長へ直接手渡しました。



↑「温かいご支援に感謝します」と語る寺西町長

プロの料理に挑戦しました

プロに学ぶ調理実習

11月6日、添田中学校3年生56人が、キッチンTAKASE(川崎町)の高瀬シェフを講師に調理実習を行い、ビーフストロガノフとチョコレートロールケーキ作り挑戦しました。効率よく調理を進める方法やロールケーキをきれいに巻く方法などを学んだ生徒たち。小さな工夫の積み重ねで本格的な味に仕上がりました。生徒は料理を通し仕事に対するプロの姿勢を学びました。



↑本格的なビーフストロガノフが完成

↓生徒たちは、出来上がった料理を試食し「すごい!おいしい!」と感動していました



思い込めた風船、青空高く舞い飛ぶ

中元寺小学校で人権授業

中元寺小学校3年生を対象に11月2日、人権教室が行われました。人権擁護推進委員から子どもの権利として生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利の4つの柱があると学んだ児童たち。その後は校庭に出て、ヒマワリの種と思いを込めたメッセージをつけた色とりどりの風船を青空へ向けて飛ばしました。



↑自分たちで育てたヒマワリの種を飛ばす児童たち

心を一つに響けみんなのハーモニー

第30回町内小学校音楽発表会

町内5つの小学校が演奏や合唱を披露する小学校音楽発表会が、11月8日、オークホールで行われました。この日のために、一生懸命練習に励んできた児童たちは、心を一つに元気よく合唱をしたり、リコーダーや和太鼓などの演奏をしたりしました。各学校の特色を活かした発表に会場は盛んな拍手に包まれていました。



↑練習を重ねてきた真木小トランペット鼓隊の演奏

↓夫婦二人で支えあい、力を合わせて、今日まで歩んできた結婚50年⑤と60年⑥を迎えた皆さん



夫婦仲良く心豊かな暮らしを

第48回金婚式

添田町社会福祉協議会(宇都宮多美子会長)主催の金婚式が11月9日、町民会館で行われ結婚50周年と60周年を迎えた夫婦が出席しました。宇都宮会長が「激動する社会を二人で前を向き歩いてこられた皆さん。これからはモノや時間に代わるものとして、心豊かに穏やかな暮らしを求めてはいかがでしょうか」とあいさつ。佐々木聡さん(下落合)は「今日まで夫婦でやってこれたのは地域の皆さんの支えのおかげ」と謝辞を述べました。出席者は、南京玉すだれの余興や保育園児の合唱と演奏を楽しみながら食事をしたり、会話を弾ませたり、仲むつまじく過ごしていました。

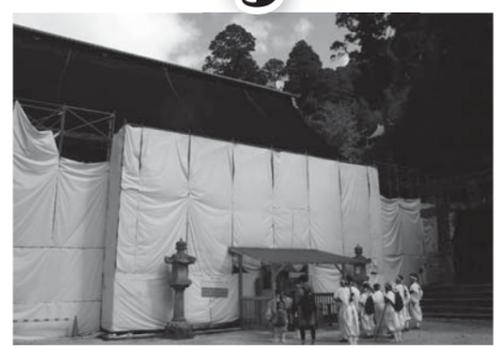
英彦山に響く鐘の音 神と仏に思いをはせる

今年も残りわずかとなりました。朱色が鮮やかによみがえった英彦山神宮奉幣殿で神仏集合の名残を感じながら、新しい年を迎えてみませんか。

寺

で、僧侶がお経をあげ、修行などを行なう場所、講堂。かつて、英彦山にも大規模な講堂のある寺がありました。英彦山霊仙寺で、現在の英彦山神宮です。英彦山は、江戸時代の終わりまで神と仏が混在し、仏事と神事の両方が行われていました。しかし、明治政府の神仏分離政策により、仏教的な物が取り除かれ、英彦山神社になりました。講堂は神官が神へ供物などを捧げる場として今の奉幣殿となるなど、人々の信仰の場として受け継がれ、平成28年には、英彦山神宮が奉幣殿再建400年を祝い、豊前神楽の奉納などが行われました。また、奉幣殿は厳しい自然環境にあり、長年の風雨により、塗装が激しく傷んでいたため、英彦山神宮は今年6月から正面部分の塗り直し工事に取り組み、年内には終わる予定で、大晦日の「梵鐘(県指定文化財・昭和41年指定)」の除夜の音に神仏習合の名残を感じるとともに、朱色鮮やかとなった奉幣殿で、新年を迎えることができます。

「大言海」という辞典には、全てのことをやり遂げる月という意味で「為果す月」と呼ばれていた説が採用されるなど師走の語源には様説あります。このように、古文書など古い記録からは、今につながる物事の「はじまり」の一端、そして史実を垣間見ることができ、時には、新事実が明らかになることがあります。町では、町内に残る古い記録を読む講座を開催しています。次回は2月24日(日)の13時30分から町民会館の2階会議室で行いますので、興味のある方はお気軽に参加いただき、古き時代を読み解いてみませんか。【文・西山絃一(学芸員)まちづくり課文化財係】



塗り直し工事中の奉幣殿。工事は年内に完了する予定です

文芸歳時記



【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

何処へど散りゆくことなど心配なし
今日も明日もただ健やかに 大塚 成子
溝萩の花の群れ咲く川原に
小ぶりの蝶の舞ひ舞ひゆけり 五十嵐田鶴
久方に光溢るる大空に

銀杏大樹は葉をきらめかす 大塚 富江
垣根越しトランベトリリーの満開は
下向くままに風に耐へりつ 平井 朝子
齢なれどよかれと思ひ始めたる
太極拳なかなか難し 木村 寛子
手を幹に当てて見上ぐる天狗杉
九百年の世を見据えきて 福富 廣枝
刈込みし後のサルビアの花の色
赤深めたり敬老の日に 荒巻ミサ子

【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】
苦も楽も人それぞれに山眠る 諫山 静香
おひさまと遊んだ証紅葉山 鈴鹿 雅子
年ふれてあなたまかせの冬支度 安永 藻香
枯葉散る歌の文句や散歩道 手嶋くみえ
柿たわわ今日の無常の風が吹く 牧野八寿子

落葉掻き風の戯れ受けながら 武田 晴子
大楓上の枝より色づきぬ 森田 竹子
菊日和嫁ぎし日より半世紀 西 加予
全身に浴びる紅葉の山の風 大池みどり

【川柳 投稿】
藁塚で遊んだ昔懐かしく 濱田イサオ
夕ぐれに立冬背なに急ぎ足 本川ミツ子
落鮎やひねもす濡るる川の底 島津余史衣
尼寺の一声残す秋の蟬 柴田 一世
秋風をこばまむ花頭窓 斎藤智寿子
夕顔や古き屋並の残る路地 天野ユキ海
青空に稲架掛け続く千枚田 立花 克明

【短歌 投稿】
啄木の詠みし剣路の海思ふ 独活山強実
嬉しきときも愁ふときにも 独活山強実
酒断ちて意志が続いた二百日 櫻木マサ子
秋刀魚味わい余生に浸る 櫻木マサ子
ゆく秋よ鳥さわがしき山の端を 仲摩 直子
茜に染めて陽のすべり落つ 仲摩 直子

【俳句 投稿】
ゆく秋よ鳥さわがしき山の端を 仲摩 直子
茜に染めて陽のすべり落つ 仲摩 直子

まちかど特派員投稿

耶馬溪「荒瀬井堰」と「青の洞門」を散策 町三公民館主催 第5回歩こう会 町三公民館からの投稿です

11月11日、町三公民館(清水正義館長)の行事「歩こう会」を実施しました。好天に恵ま



↑禅海和尚の掘った青の洞門の前で記念撮影

れ、29名の参加がありました。この時期、行楽地としての耶馬溪の紅葉もさることながら、地元「重文・中島家住宅」と歴史的に共感できる場所として「荒瀬井堰」と「青の洞門」を目的地として散策することにしました。荒瀬井堰には車が多く、近くまで行くことができず、全員で手彫りの青の洞門と車道のトンネルを往復しました。明り取りから見るノミのあとに感動し、ボランティアの説明に耳を傾け、30年という年月をかけて掘りあげた禅海和尚の生きざまに、心がしめつけられる思いでした。昼食後は、一路日田へ。「元気の駅」で少し買い物をし、帰路につきました。今回は十分な距離を歩くことができずでしたが、皆さんとの親睦と交流を深めることができ、本年度の「歩こう会」を無事終えることができました。

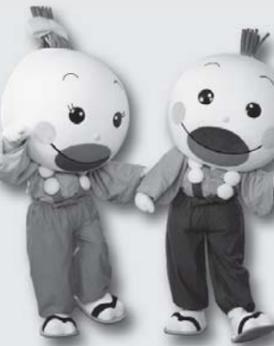
12月生まれ HAPPY BIRTHDAY おめでとう



1月生まれは、12月11日(日)までに投稿ください!



きづくん1歳のお誕生日おめでとう食べるのが大好き♡お姉ちゃんとお元氣いっぱい大きくなってね♡



3歳までのお子さん募集中です
お子さんの写真にメッセージを添えて、役場総務課広報・秘書係まで持参してください。下記のアドレスから、メールで投稿することもできます。
問 役場総務課広報・秘書係(☎ 82-1231)

Eメールは①お子さんの写真 ②お子さんの氏名 ③名前の読み方 ④誕生日 ⑤年齢 ⑥行政区 ⑦メッセージ(50文字以内) ⑧保護者の連絡先を送信してください。

送信先 koudojyouhou@town.soeda.fukuoka.jp

●1月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します
12月11日(日)までに役場総務課に連絡してください。
※投稿は1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。
問 役場総務課広報・秘書係(☎ 82-1231)



教育のひろば

子どもたちの見守りを ～地域の協力をお願いします～

現在、小・中学生の通学時には、多くの団体や保護者、地域の方々が、交差点での見守りや一緒に歩くなどの見守りを行っていただきまして、お礼を申し上げます。

昨今、全国的に不審者による声掛けや子どもの通学中における交通事故が問題となっています。添田町の小・中学生の人数は、20年前と比べて、約6割に減少しており、下校時には途中から一人で帰っている児童・生徒がいます。通学路の中には、人気がない場所も少なくありません。小学生の下校時刻に合わせて、添田町防災無線で地域の方々に、子どもたちの見守りを呼び掛けて

いますので、その時間に少しお庭に出ただき、子どもたちの下校見守りにご協力いただければ幸いです。



冬場は日が落ちる時間も早いため、事件や事故に巻き込まれる可能性も高くなります。特に、冬休みになると、子どもたちの行動範囲が広がります。学校でも子どもたちに冬休みの過ごし方を指導していますが、ご家庭では、暗くなる前に帰宅するように子どもたちに注意を

してください。地域の方々も子どもたちの遊ぶ姿を気にかけていただき、暗くなる前にお家に帰るよう促してください。

地域、保護者、学校、行政が一体となって、子どもたちの安全・安心を守る添田町にご協力をお願いします。

☎ 教育委員会学校教育課 (82-5963)

●水中運動で正月太りを解消しませんか
クアハウス運動教室

●期間 平成31年1月8日(四)～3月15日(金)

○ダイエット・筋力アップ教室 毎週(四)・(金)
①11時～12時、②14時30分～15時30分

○腰・肩・膝痛予防教室 毎週(四)・(金)
①11時～12時、②14時30分～15時30分

※参加費無料(ただし、施設利用料はかかります。)

☎ クアハウスハピネス (82-5061)

女性特有がん無料クーポンの有効期限は2月28日(木)まで

女性支援とがん検診の推進のため、5月に対象者に子宮頸がん検診の無料クーポン券を送付しています。早めの受診をお願いします。

▼有効期限 平成31年2月28日

▼対象者 ▼子宮頸がん検診Ⅱ 平成9年4月2日～平成10年4月1日 ▼乳がん検診Ⅱ 昭和52年4月2日～昭和53年4月1日

☎ 役場保健福祉環境課健康対策係 (88-8111)

相談

第70回人権週間・電話相談

「世界人権宣言」は、基本的人権と自由を尊重し確保するために、世界の全ての人々と全ての国々々が達成すべき共通の基準として、昭和23年12月10日の第3回国連総会で採択され、本年で採択70周年を迎えます。

国際連合は、世界人権宣言採択を記念して、採択日の12月10日を「人権デー」と定め、法務省と全国人権擁護委員会では、12月4日から10日までの1週間

を「第70回人権週間」として、啓発・相談活動に取り組みます。

▼相談内容 家庭内のもめごと、隣近所とのトラブル、いじめや差別などに、人権擁護委員と法務局職員が無料で相談に応じます

▼相談窓口 平日8時30分～17時15分

▼みんなの人権110番 (82-570-03-110)

▼子どもの人権110番 (82-570-07-110)

▼女性の人権ホットライン (82-570-070-810)

無料調停相談会

調停制度(話し合いで円満に解決する手続き)がどのようなもので、利用するにはどのような手続きが必要なのかなどについて、家事調停委員と民事調停委員が無料で相談に応じます。

▼とき 平成31年1月23日(火) 10時～15時

▼ところ 糸田町役場

▼相談内容 夫婦関係、扶養、相続、土地建物、借入金債務、過払い金返還、交通事故などの民事上のもめごと

☎ 福岡地方裁判所田川支部内 田川調停協会 (82-0163)

試験・募集

自衛官採用試験

【自衛官候補生第6次募集】

▼試験日 平成31年1月20日(日) 21日(月)の指定する1日

▼試験会場 陸上自衛隊小倉駐屯地(北九州市)

▼応募資格 18歳以上33歳未満の人

▼受付期限 平成31年1月11日(金) 陸上自衛隊高等工科学校生徒(一般)

▼試験日 平成31年1月19日(土)

▼試験会場 陸上自衛隊小倉駐屯地(北九州市)・飯塚研究開発センター(飯塚市)

添田町社会福祉協議会 嘱託職員募集

【デイサービス事業所職員】

▼勤務地 デイサービス事業所

▼職種 介護職

▼募集人数 1人

▼勤務時間 火曜～土曜 8時30分～17時15分

▼給与 月額6700円

▼給与 日額6700円

▼デイサービス(82-2600)

【特養そえだ職員】

▼勤務地 特養そえだ

▼職種 調理員(パート)

▼募集人数 2人

▼勤務時間 ①9時15分～18時15分 ②6時～15時

▼時給 850円

☎ 特養そえだ(82-4112)

保険・福祉

国民健康保険の特定健診、保健指導の個別健診を実施

特定健診は、メタボリックシンドロームや、生活習慣病の予防・改善に着目した健康診査です。実施期間中はお近くの医療機関で受診できます。対象者は12月上旬に、受診券と受診できる医療機関一覧を郵送しています。

▼実施期間 12月1日(土)～平成31年1月31日(金)

▼対象者 国民健康保険に加入している40歳～74歳で、今年度中に特定健診を受診していない人/料金500円

☎ 役場住民課保険年金係 (82-5966)

第25回 添田町長杯囲碁大会

～頭の体操に愛好者集まれ～

☎ と き 1月20日(日) 12時～(受付11時30分～)

☎ と ころ 中鶴教育集会所

☎ 会 費 1,000円

☎ 申込締切 平成31年1月15日(火)

☎ 申し込み・問い合わせ 伊藤公輔さん(町四) / 82-0879 金森幸雄さん(町三) / 82-1933 宮田昭秋さん(町一) / 82-1472

無料調停相談会

調停制度(話し合いで円満に解決する手続き)がどのようなもので、利用するにはどのような手続きが必要なのかなどについて、家事調停委員と民事調停委員が無料で相談に応じます。

▼とき 平成31年1月23日(火) 10時～15時

▼ところ 糸田町役場

▼相談内容 夫婦関係、扶養、相続、土地建物、借入金債務、過払い金返還、交通事故などの民事上のもめごと

☎ 福岡地方裁判所田川支部内 田川調停協会 (82-0163)

添田町を元気に!

地域おこし協力隊通信

Vol. 7

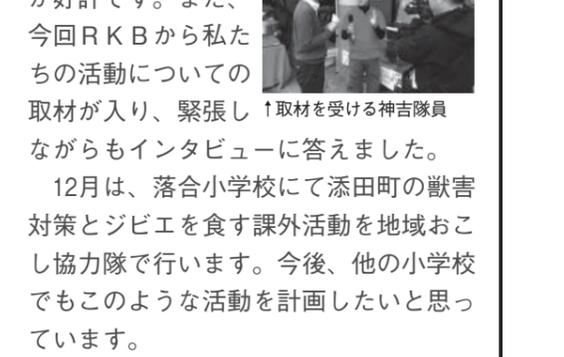
肉まん、ライスバーガーが大好評 歓遊舎周年祭でジビエ販売



11月18日、道の駅歓遊舎ひこさん19周年祭に、地域おこし協力隊で参加しました。ジビエ振興の一環で、猪肉まん、鹿肉まん(ピザまん風)、鹿肉ライスバーガーを販売しました。鹿肉ライスバーガーは、今年ふる里まつりから出した商品ですが、毎回完売しており、お客様からの反応もなかなか好評です。また、今回RKBから私たちの活動についての取材が入り、緊張しながらもインタビューに答えました。

12月は、落合小学校にて添田町の獣害対策とジビエを食す課外活動を地域おこし協力隊で行います。今後、他の小学校でもこのような活動を計画したいと思っています。

普段の活動や、町のイベントなどに参加していますので、お気軽に声かけをしてください。



私たちの活動を公開しています

添田町地域おこし協力隊 フェイスブックページ <https://www.facebook.com/soedamatitikiokosi/>

添田町地域おこし協力隊 検索

人の動き

- 10月末日現在()は前月比
- 人口 9,945人(-5人)
 - 出生 5人
 - 男性 4,689人(-7人)
 - 死亡 20人
 - 女性 5,256人(+2人)
 - 転入 33人
 - 世帯数 4,749世帯(-3世帯)
 - 転出 23人

相談

- 心配ごと相談 (そえだジョイ/10時~15時)
12月18日☎、1月8日☎
- 補聴器相談 (役場ロビー)
12月12日☎(13時~)、14日☎(15時~)
- 無料法律相談 (オークホール/13時~16時)
12月21日☎

※2か月に1回の巡回無料相談会です。前日午前中までに役場保健福祉環境課で予約してください。

- ☎ 役場保健福祉環境課 (☎ 82-1232)
- 無料法律相談会 (福岡法務局田川支局/13時~16時)
12月11日☎、1月8日☎
- ※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。
- ☎ 法テラス福岡 (☎ 050-3383-5502)
- こころの健康相談 (田川保健福祉事務所/予約制)
12月11日☎(10時~)、27日☎(14時~)
- ☎ 田川保健福祉事務所健康増進課 (☎ 42-9307)
- 女性の健康相談・不妊相談 (福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所/要予約)
12月5日☎、1月9日☎(13時30分~16時30分)
- ☎ 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課健康増進係 (☎ 0948-29-0277)

事件事故発生状況

10月の事件発生状況 ()内は昨年同月比		
種類	発生件数	今年の累計
オートバイ盗	0(-1)	3
性犯罪	0(±0)	0
車上ねらい	0(±0)	0
空き巣・忍び込みなど	0(-1)	1
10月の事故発生状況 ()内は昨年同月比		
種類	発生件数	今年の累計
事故発生(物件+人身)	14(±0)	171
死亡者	0(±0)	0
負傷者	4(±0)	39

納期限のお知らせ

- 1月4日☎が納期限です
 - ▷町県民税(4期)
 - ▷国民健康保険税(6期)
 - ▷後期高齢者医療保険料(6期)
- ☎ 役場住民課税務・滞納対策係 (☎ 82-1234)

◎安心して働ける社会へ

育児休業・介護休業の取得をすすめましょう

☎ 福岡県労働局 (☎ 092-411-4894)

育児休業

- 子が1歳(一定の場合、最長2歳)まで育児休業がとれます
- 有期契約労働者も、一定の要件を満たせば休業できます
- 夫婦で取得すると、1歳2か月まで休業できます

介護休業

- 通算93日まで、3回に分けて介護休業がとれます
- 有期契約労働者も、一定の要件を満たせば休業できます
- 配偶者・父母・子・配偶者の父母・祖父母・兄弟姉妹・孫のためにとれます

※詳しくは福岡労働局雇用環境・均等部指導課にお問い合わせください。

20歳以上の人が対象 定時制高校入試特例措置

福岡県立高校定時制課程では、満20歳以上で希望する人に対し、学力検査を行わず、作文で入学者選抜を行う特例措置を実施しています(一部学校を除く)。これから勉強を始めて、高校卒業資格を得たいと考えている人の入学をお待ちしています。

▼試験日 平成31年3月6日☎、7日☎

▼試験会場・願書配布場所 志願先高校

▼志願資格 高校入試資格がある

家屋の新築、増築、取り壊しをした人は連絡を

平成30年中(平成30年1月2日から平成30年12月31日まで)に家屋の新築、増築、取り壊しをした人は、添田町役場住民課税務・滞納対策係まで連絡をお願いします。法務局で登記を行った人や、すでに報告済みの人

☎ 福岡県教育庁高校教育課 (☎ 092-643-3904)

政治家の寄附行為は禁止されています

「三不運動」とは、政治家の寄附について「贈らない、求めない、受け取らない」ということです。公職選挙法の寄附禁止の規定によって禁止されている行為をしないようにしましょう。

☎ 添田町選挙管理委員会 (☎ 82-1231)

ありがとうございます (敬称略)

○添田町社会福祉協議会へ
▼香典返し ▼(故)水上千代子

○懐かしい友と大人の再会
平成30年度
添田町成人式

9時~11時30分、13時~16時
▼交付場所 福岡県田川総合庁舎(田川市)

※交付日には、新規か継続かによって、印鑑や報告書などが必要。詳しくは問い合わせください。

▲(上津野)▼(故)有川嘉輔(中津野)▼(故)中村英明(野田)▼(佐々木学(添田東)▼(故)宮城博幸(添田中)▼(故)鳥居モミ子(添田中)▼(故)植木雪子(町一)▼(米村良子(町三)▼(故)箕田康直(伊原)▼(白瀧たず子(伊原)▼(故)堺リヨ子(新城)▼(故)折口ユミ子(岩瀬)

▼一般寄附 ▼村上正彦(庄中)▼(錦風荘へ

○慰問 ▼赤間徳夫(岩瀬)▼伊藤麗子(添田中)▼三丸十七子(添田中)

(平成30年11月14日現在)

お知らせ

添田町プレミアム地域商品券有効期限は1月16日☎まで

平成30年7月17日発行の「添田町プレミアム地域商品券」の有効期限は、平成31年1月16日☎までです。期限を過ぎると使用できなくなりますので、必ず有効期限までに利用してください。また、未使用の商品券の返金換金はできません。

☎ 添田町商工会 (☎ 82-0244)

農業用免税軽油使用者証及び免税証を交付します

軽油には県税として1リットルあたり321円の軽油引取税が課されていますが、農業を営む人が、農業用に使用するトラクターやコンバインなどの動力源に使用する軽油については、本人の申請により、軽油引取税が免除される免税証などの交付を受けることができます。なお、関係する免税軽油使用者に対しては、11月中旬に免税軽油申請手続きについての文書を発送して

います。

▼申請期限 12月末まで

▼申請先 福岡県飯塚・直方県税事務所(飯塚市)

▼対象者 農業を営む人(兼業農家含む)

▼必要書類 【新規】①免税証交付申請書 ②耕作証明書(農業委員会発行) ③機械の所有を証する書類(販売証明書など) ④機械の全景写真またはエンジン番号のすりだし

【継続】①免税証交付申請書 ②耕作証明書(農業委員会発行)

▼交付日 平成31年2月19日☎

懐かしい友と大人の再会
平成30年度
添田町成人式

9時~11時30分、13時~16時
▼交付場所 福岡県田川総合庁舎(田川市)

●とき **1月13日** 13時30分開式(受付13時~)

●会場 オークホール

●対象者 平成10年4月2日~平成11年4月1日までに生まれた人

※該当者には、案内通知を送付します。※家族も式典会場へ入ることができます。

☎ 役場総務課総務係 (☎ 82-1231)

<p>一年末・年始 業務と休み</p> <p>役場や各機関の年末年始の業務と休みは次のとおりです。お間違えないようにお願いします。</p>	
役場・各関係機関代表 (☎ 82-1231)	閉庁日/12月29日(土)~1月3日(木)
図書館・児童館 (☎ 82-4800、82-3402)	休館日/12月28日(金)~1月4日(金)
英彦山スロープカー (☎ 85-0375)	運行時間 12月31日(月) 8時40分~15時10分・22時~3時10分 1月1日(祝) から通常営業
そえだジョイ (☎ 82-5600)	休館日/12月29日(土)~31日(月) 1月1日(祝)~3日(木)の受付は 子供室10時~16時、入浴施設13時~16時 事務局/12月29日(土)~1月3日(木)は休業
歓遊舎ひこさん (☎ 47-7039)	休館日/12月31日(月)~1月1日(祝) 1月2日(水)~3日(木)の営業は10時~16時
しゃくなげ荘 (☎ 85-0123)	通常通り営業(入浴10時~21時) 受付20時まで
ひこさんホテル和 (☎ 85-0121)	通常通り営業(立寄り湯11時~16時)
クアハウスハピネス (☎ 82-5061)	休館日/12月29日(土)~1月3日(木) 12月28日(金)は9時30分~17時
町バス・まちこカー (役場施策推進係/☎ 82-1236)	運休日/12月29日(土)~1月3日(木) ※町バスは12月29日(土)・30日(日)は運休で、31日(月)~1月3日(木)は土・日・祝日の時刻表で運行します。
ごみ収集 (役場環境保全係/☎ 82-1232)	定休日/12月29日(土)~1月3日(木) ※個人でゴミをじん芥処理センターへ持ち込みできるのは12月28日(金)の16時まで。年始は4日(金)から。
し尿くみ取り	定休日/12月30日(日)~1月4日(金) ※12月29日(土)までのくみ取りは、12月20日(木)までに予約をしてください。 ☎ 南桑野衛生 (☎ 82-2288) (有)添田環境サービス (☎ 82-0450) 松村産業(株) (☎ 32-3182)
水道当番	12月29日(土)1月3日(木)/(有)島田建設(☎ 82-5857) 12月30日(日)/(有)筑添建設(☎ 82-4661) 12月31日(月)/安藤水工(☎ 85-0527) 1月1日(祝)/(有)毛利管工(☎ 82-1023) 1月2日(水)/(株)森下組(☎ 82-0174)
田川地区斎場 (☎ 42-8002)	定休日/1月1日(祝)
田川地区急患センター (☎ 45-7199)	診療日/12月30日(日)~1月3日(木) 受付時間/【内科・小児科】9時~12時、13時~17時、18時~23時 【外科】9時~12時、13時~17時 ※保険証を忘れずに。
犬の捕獲 飼い犬・飼い猫の引き取り	野犬などの捕獲/12月20日(木)まで ※年始は1月4日(金)からです。 飼い犬などの引き取り/12月26日(水)まで ※年始は1月4日(金)からです。 ☎ 福岡県田川保健福祉事務所 (☎ 42-9309)



◇発行／添田町 ◇編集／総務課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 2151 番地
☎0947-82-1231 FAX0947-82-2869
ホームページ http://www.town.soseda.fukuoka.jp



実りの秋 地元の旬が大集合

上津野村づくり推進協議会（松崎一章会長）主催の収穫祭が、上津野活性化センター付近で行われました。地元で採れた新鮮な野菜やお米などの物産展や、イノシシ汁やおしるこなど、体が温まる食べ物の販売もあり、多くの来場者のお腹を満たしていました。花の競りでは、トルコギキョウやヒマワリなどが次々に競り落とされたり、ヤマメ釣りでは、真剣な表情で釣りをする子どもたちの姿が多く見られたりと、大満足の1日となったようでした。



広報そえだ 町長室

今年を振り返る月となりました。この夏、添田町長・町議会議員の選挙がありました。選挙期間中も大雨に襲われ、昨年同時期の九州北部豪雨の傷も癒えない中での対応に苦慮したところです。選挙期間の設定についても昨今の状況を考えるとどうだったのだろうかとの意見も聞くところでした。▼町長選挙は無投票当選させて頂きましたが、今でも突然思わぬ人から「おめでとうございました」と言われ、同時に「添田町のため体の続く限り頑張ってもらわねば」と激励され、嬉しさと戸惑いの中、決意を新たにしたいところです。今後ともよろしく願います。▼災害復旧も緊急度を勘案し、件数としてようやく6割超の発注を終えたところです。業者の皆さんも大わらわです。JR日田彦山線は、先月号でも詳細を報告させて頂きましたが、復旧費のめどはついたと考えますが、JR九州はこの先継続的に運行ができるようにとランニングコストの自治体負担を求めています。民間に移行した際、この問題は内在していただけに、引き受けたからには企業の努力が必要だと思います。単に赤字部門を切り捨てるのではなく、鉄道会社の信頼があるからこそ、他の部門でも利益を得ているのであり、当面その利益を振り分け、鉄道の黒字を目指す運営を行うべきではないかと思っています。何百億もかけて道路にするのはどうなのか、鉄道で復旧すべきと考えます。▼振り返る月として数千年をさかのぼってみました。英彦山神宮にお祀りされています神様は天忍穂耳尊（アメノオシホミミノミコト）で天照大神の御子です。【添田町史より】

その天忍穂耳尊が出てくるのが古事記（712年に書かれた神話や伝承）です。▼少し乱暴かもしれませんが紹介しますと、高天原を治めていた天照大神のもとに父親から追放された素戔嗚尊が姉の天照大神に別れを告げに行つたところ、攻めてくると勘違い、あれこれあつて心の清濁を占うことになつたといふことです。素戔嗚尊の剣から、昨年宗像で世界遺産に指定された地域にある神社に祀られている三女神が、天照大神の玉からは「マサアカツカチハヤヒメノオシホミミ（天忍穂耳尊）」のほか、五柱が生まれたといふものです。▼ということで天照大神（太陽↓日）の子ともいふことで「日の子の山」「日子山（ひこさん）」、その後「彦山」、そして秀でた山ということで靈元法皇の勅命で英の字を授かり「英彦山」となりました。周知のことだと思えます。▼いま、その神宮の上宮が風雨にさらされ損傷が激しい状況です。ようやく、住民の皆さんをはじめ、文化的価値のあるお社を守るうとの機運が醸成されてきました。住民の皆さん、英彦山を愛する一人ひとりの手でこのよくな文化的価値のあるものを守り、子や孫に引き継いでいかなければならぬと思つています。どうか、皆さんのお力をお貸し頂ければと思つています。